

【新型コロナウイルス感染症関連情報】

岐阜県医師会 常務理事 磯貝光治

新たな新型コロナウイルス感染症の経口治療薬「ゾコーバ錠」

新たな新型コロナウイルス感染症の経口治療薬として、「エンシトレルビル・フマル酸」（販売名：ゾコーバ錠 125mg）については、国内メーカー初の経口コロナ感染症治療薬で、今冬の第8波に向けて大きな武器となりますが、当面は安定供給が難しいこと、「併用禁忌・併用注意となる薬剤」が極めて多く、安全性等を確保する必要があることから「2週間程度（12月6日まで）は、都道府県が選定した『パキロビッドパック』の処方実績のある医療機関・薬局、都道府県で特に希望し指定した医療機関・薬局」に限定したゾコーバ錠を扱えることになりました。

対象となる患者が発生した場合には、国から無償提供され、「必要以上の配分依頼」、「在庫の確保」、「対象機関以外からの配分依頼」、「投与対象者以外への投与」は控える必要があります。

投与対象は、『臨床試験成績を踏まえ「高熱」、「強い咳症状」、「強い咽頭痛」などの臨床症状がある者のうち、重症度の高くない者（概ね中等症 II 未満）』とされ、「症状発現から遅くとも72時間以内に初回投与する」ことが求められます。

また、併用禁忌・併用注意の薬剤が多数あることから、処方時には「服薬中のすべての薬剤を確認する」ことが強く求められます。また「腎・肝機能障害がありコルヒチンを投与中の患者」「妊婦、妊娠している可能性のある女性」には本剤投与ができないことも忘れてはなりません。

さらに「重症化リスク因子のある軽症例に対して、重症化抑制効果を裏付けるデータは得られていない」ことから、重傷者リスク因子のいずれかを有する者で、医師が必要と判断した者は「他剤の投与対象になり得る」ことが示されています。

加えて、薬剤の供給（厚労省が所有し、各医療機関等に無償配布する）については、①製薬メーカー：塩野義製薬社の開設する「ゾコーバ登録センター」に各医療機関が登録する、②センターを通じて配分依頼を行う、③センターを通じて配分される、④患者に投与する時点で医療機関等に無償譲渡される、という形になります。

なお、「在庫保有」は認められませんが、「1箱に28錠（通常の用法・用量で4人分）が梱包されており、1人分の治療薬を配分依頼した場合でも、1箱が配送されることから、使用しなかった残りの治療薬は院内で適切に管理・保管する（室温保存、2年間有効）」こととなります。